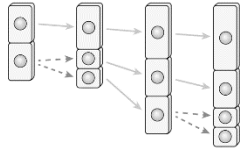

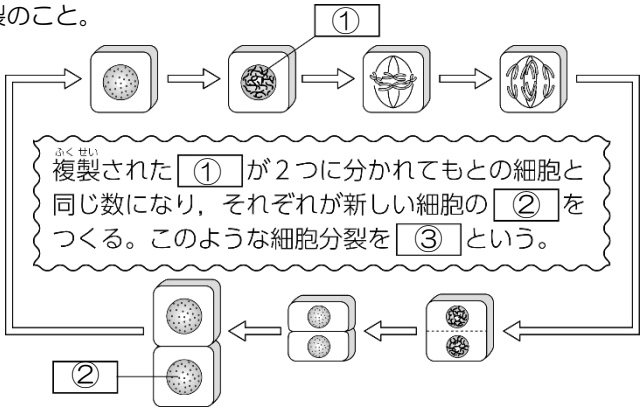
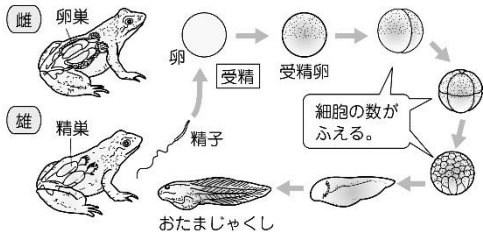
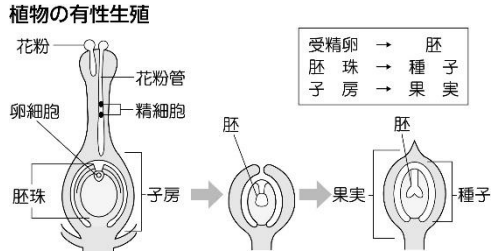
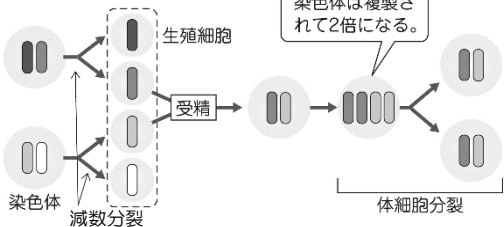


1章 生物の成長とふえ方

	用語	ページ	解説
1 生物の成長	細胞分裂	5, 9	<p>1つの細胞が2つに分かれること。はじめに核が2つに分かれ、その後、細胞質が2つに分かれる。</p> <p>💡 なぜ生物の体は成長できる（大きくなる）のだろうか？ ⇒ 細胞分裂によってふえた細胞1つ1つが大きくなるから。</p> 
	成長点	5	植物において細胞分裂がさかんに行われているところ。
	染色体	6	<p>細胞分裂のときにひものような形に見えるようになるもの。数は生物の種類によって決まっている。</p> <p>【分裂している細胞の染色体を観察するとき用いる薬品】</p> <p>① 5%塩酸：細胞を1つ1つはなれやすくする。 ② 酢酸オルセイン溶液：細胞を固定するとともに、核や染色体を赤紫色に染める。</p> 
	生殖細胞 体細胞	9 ~	<p>子孫を残すための特別な細胞で、卵（卵細胞）や精子（精細胞）のこと。</p> <p>多細胞生物の体をつくる細胞のこと（生殖細胞を除く）。</p>
2 生物のふえ方	体細胞分裂	9	<p>体細胞で起こる細胞分裂のこと。</p>  <p>① 染色体 ② 核 ③ 体細胞分裂</p> <p>複製された①が2つに分かれてもとの細胞と同じ数になり、それぞれが新しい細胞の②をつくる。このような細胞分裂を③という。</p> <p>💡 体細胞分裂を繰り返すと染色体の数は増えていくのだろうか？ ⇒ 染色体は分裂前に2倍にふえても、分裂によって2つに等分されるので、体細胞分裂をくり返しても1つの細胞の染色体の数は常に同じになる。</p>
	生殖	10	<p>生物が自分と同じ種類の新しい個体をつくるはたらき。</p> <p>無性生殖 雌雄の生殖細胞の受精によらずに、親の体の一部から新しい個体ができるふえ方。 例…分裂：アメーバ、ゾウリムシ 出芽：ヒドラ、酵母菌 栄養生殖：ジャガイモ、オニユリ、オランダイチゴ、ゼニゴケ</p> <p>有性生殖 雌と雄がかかわって子を残すふえ方。受精卵から成体になるまでの成長過程を発生という。</p> <p>動物の有性生殖</p>  <p>植物の有性生殖</p>  <p>受精卵 → 胚 胚珠 → 種子 子房 → 果実</p>
	減数分裂	16	<p>生殖細胞がつくられるときに行われる細胞分裂。染色体の数が半分になる。</p> <p>💡 子の細胞はいくつ染色体をもつことになるのだろうか？ ⇒ 減数分裂によって染色体の数が半分になった卵と精子が受精することによって子ができるため、子の細胞の染色体は、親と同数である。</p>  <p>染色体は複製されて2倍になる。</p>

理科B 用語まとめプリント — 教科書P.4~16を自分なりに整理しよう —

3年 組 番 名前

提出：授業再開後、最初の授業

まとめ方は自由です。自分にあった方法で構いません。

頭の中を整理できるように工夫しましょう。

まとめ方が思いつかない人は**解説**のプリントを参考にしてください。

早くみんなと会えるのを楽しみにしています！